「九州薬学会雑誌」投稿規定

【投稿者の資格】
筆頭著者は，九州山口薬学会の会員であること。会員とは，九州山口在住の薬学・薬業に従事する者である。

【著作権等】
本誌に掲載された論文の著作権は九州山口薬学会に属する。編集上の事項を除いて掲載された論文の責任は著者が負う。

【論文】
本誌に掲載する論文は薬学・薬業に関係するもので，オリジナリティを有し，抄録以外は他の内外雑誌に発表したもの，または投稿中のものは掲載しない。

【原稿の送付】
原稿は正 1 部（原文），副 2 部の計 3 部とし，写真は正 3 部とする。本原稿とコピー原稿の区別を明らかにする。封筒に「九州薬学会雑誌投稿原稿」と朱書きし，送付記録が残る形式（レターパック等）で次の宛先に送付する。

〒 812-8582
福岡県福岡市東区馬出 3-1-1　九州大学病院薬剤部内　九州薬学会雑誌編集委員会

【原稿の受付および採否】
1. 受付日
・原稿の受付日は原稿の到着日とする。
2. 採否
・原稿の採否は，2 名以上のレフリーの意見に基づいて編集委員会が決定する。
3. 再提出
・審査後の原稿は，正 1 部（原文），副 2 部（本原稿とコピー原稿の区別を明らかにする）をその内容を書き込んだ CD-R，USB メモリなどの電子媒体（OS，ソフトウェアの情報を明記）とともに送付する（提出された電子媒体は原則として返却しない）。なお，電子媒体への原稿の書き込みファイルは，Windows と互換性のある Microsoft Word ファイルとする。また，図表は編集可能な状態で Microsoft Word ファイルに貼付する。

【原稿作成】
・原稿は，パソコンを用い，A4 判用紙に 25 字× 20 行で作成する。原稿は，図および表を含めて 15 枚以内とし，用紙下部に表紙から通し頁をふること。図・表は 1 枚の用紙につき 1 つずつ記載する。
・原稿は，表紙，要旨（和文），キーワード（和文），本文・図・表，引用文献の順で構成される。
・表紙（1 頁目）には，表題（和文），著者名（和文），施設名（和文），表題（英文），著者名（英文），施設名（英文）および連絡者の E-mail アドレスを記載し，要旨，キーワードは 2 頁目，本文は 3 頁目より始めること。

1. 原稿
・原稿は平仮名まじり，口語体とし，新仮名使いを用い，わかりやすく簡潔に記述する。難しい漢字はなるべく避ける。
・表題（和文・英文）は，できるだけ簡潔に内容をよく表現すること。太文字で印刷されるように波線にて下線（〰〰）を引く。
・著者名は全著者の姓名を記載する。また，著者名（英文）は，小キャピタルで印刷されるように，2 文字目以後に二重線にて下線（＿＿）を引く。
・委員会名，団体名での投稿は，全著者の所属機関名も併記する。また，施設名（英文），施設住所（英文）は，

Presented by Medical*Online

イタリック体で印刷されるように下線（____）を引く。

・既に学会で発表済みの場合は，タイトルの上付きにアステリスク（＊）を記し，表紙の下部に付記する。また，施設の所在地（和文・英文）も下部に記す。

例）

＊[1] 第 62 回九州山口薬学大会（宮崎，1999 年 11 月）にて発表

＊[2a] 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1：*1-1 Iseigaoka, Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan*

（〇〇市の場合，県名は不要。郵便番号は，英文表記のみに付ける。）

＊[2b] 宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200：*5200 Oaza Kihara, Kiyotake-cho, Miyazaki-gun, Miyazaki 889-1692, Japan*

・要旨は，当論文で著者が強調したい要点を含め，目的，方法，結果等を客観的にまとめたもので，和文で 400 字以内とし，キーワード（4 個以上 6 個以内）を付ける。

・本文には，緒言，方法（対象），結果，考察，引用文献等を含めること（必要に応じて複数の項目を統合してもよい）。

・感謝の辞を付記したい場合は，引用文献の前に「謝辞」と見出しをつけ，記載する。なお，九州山口薬学会の研究助成を受けた論文の場合には，「謝辞」にその旨を明記する。

「謝辞（例）」

・本研究は九州山口薬学会の研究助成を受けて実施された。

・本研究の一部は九州山口薬学会による研究助成金によって行われた。

・薬品名は一般名とする。但し，配合剤は除く。商品名を記載したい場合は，タイトルおよび本文の最初に出てくる箇所に，「一般名（商品名）」の形で記載する。以下，全て一般名とする。

・原稿の内容はヘルシンキ宣言（世界医師会），人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省），医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス（厚生労働省），症例報告を含む医学論文および学会研究会発表におけるプライバシー保護に関する指針（外科関連学会協議会）に従ったものでなければならない。なお，倫理審査委員会の承認が必要と考えられる研究では，事前に倫理審査委員会の承認を得ることを原則とする。投稿時には承認証（写し）を添付すること。また，論文中には，必要に応じて倫理審査委員会の承認番号や患者同意の有無について明記すること。

・投稿論文の著者全員は，当該論文に関わる利益相反状態について，「利益相反の開示内容に関する基準」に従い，謝辞または引用文献の前に「利益相反」と見出しをつけ，記載する。なお，開示すべき利益相反関係は，当該研究の開始時から原稿投稿時までのものとする。また，開示すべき利益相反状態がない場合にも，その旨を記載する。

「利益相反（例）」

・本研究に開示すべき利益相反はない。

・本研究において，著者の一部は本研究に用いた〇〇を製造販売している△△から研究費を受け入れている。

（利益相反の開示内容に関する基準）

・開示すべき内容は以下のものとする。

①報酬（社員，役員，顧問等）

・1 つの企業・団体から年間 100 万円以上

②株式の保有

・1 つの企業から年間 100 万円以上，あるいは当該株式の 5% 以上を保有

③特許権使用料

・1 つの企業・団体から年間 100 万円以上

④講演料（講演・座長の会議出席等）

・1 つの企業・団体から年間 50 万円以上

Presented by Medical*Online

⑤原稿料
・1 つの企業・団体から年間 50 万円以上
⑥研究費・奨励寄附金
・1 つの企業・団体から年間 100 万円以上
⑦訴訟等の顧問料及び謝礼
・1 つの企業・団体から年間 10 万円以上
⑧寄付講座等の受入
・企業・団体から寄付講座を受け入れている場合，給与が寄付講座または企業等からの外部資金によってまかなわれている場合
⑨研究員等の受入
・企業・団体から研究員・非常勤講師等を受け入れている場合
⑩その他の報酬（旅費，贈答品等）
・1 つの企業・団体から年間 5 万円以上

2. 図・表
・他誌からの図（写真含む）表の引用，転載は原則として行わないこと。やむをえず行う場合は，予め，版権所有者の許可を得，各図表の下に引用した出典を明記すること。
・そのまま写真製版するので丁寧に作成する。カラーは不可。グラデーションも使用しない。
・本文中の図表の挿入箇所は，本文原稿の右欄に朱書きで示す。
・図では，表題，説明文，凡例の順に図の下部に配置する。
・図の表題は，「図○.」，「Fig. ○.」（太文字で印刷するため波線の下線を付ける。数字はアラビア数字。）の後に続けて記す。なお，表題の文字自体は太文字ではない。
例）図 1. フェニトイン血中濃度の推移
・図の凡例は，「記号，説明；記号，説明；……」という要領で表記する。
例）○－○，フェニトイン血中濃度；●－●，フェノバルビタール血中濃度；……
・表では，表題は，表の上部に左寄せに配置する。説明文は，表の下部に配置する。
・表の表題は，「表○.」「Table ○.」（太文字で印刷するため波線の下線を付ける。数字はアラビア数字。）の後に続けて記す。なお，表題の文字自体は太文字ではない。
例）表 1. フェニトイン血中濃度

3. 引用文献
・引用文献は出現順に通し番号を付け，本文の該当個所の右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示し，番号順に並べて論文末尾に一覧表示する。
・一覧の番号は右揃えに配置する。
・著者が複数である場合も省略せず，著者間はカンマ（,）で区切る。
・著者名（和）では，姓名の間にスペースは空けない。
・著者名（英）は，「ファーストネームのイニシャル .（セカンドネームのイニシャル.）ファミリーネーム」の要領で表記し，最終著者名を「and」でつなぐ。

＜雑誌＞
・著者名，雑誌名，巻数，ページ（号ではなく，巻の通しページ），出版年の順に記す。
・雑誌名（英）は，イタリック体で印刷されるように下線を付ける。
・巻数は太文字で印刷されるように波線の下線を付ける。
例 1） 岩本武夫，吉浦晶彦，入山啓治，蛋白質・核酸・酵素，33，252（1988）.
例 2） J.A.Dipaolo, C.E.Moore, and T.F.Niedbala, Cancer Res., 17, 1127（1957）.

Presented by Medical*Online

＜単行本＞

・以下のいずれかの形式を選び，統一する。

①著者名，書名，版数，巻数，編集者，出版社，発行地，発行年，ページ

②編者名，書名，版数，巻数，出版社，発行地，発行年，ページ

②の形式で記載する際は, 編者名の後に和文では「(編)」, 英文では「(ed.)」(複数の場合,「(eds.)」) を追加する。

例 1）川合真一，田中早苗，“実験化学講座 17 巻，有機化合物の反応㈱（下）”，第 2 版，日本化学会編，丸善，東京，1963, pp.1-243

例 2）石津和彦編，“実用 ESR 入門”講談社，東京，1981, pp.229-262

例 3）B.M. Kerr and R.H. Levy,“Antiepileptic Drugs”, 4th ed. by R.H. Levy, R.H. Mattson. B.S. Meldrum, Raven Press, New York, 1995, pp.529-554

例 4）M.J. Ostro（ed.），“Liposomes”, Marcel Dekker, Inc., New York, 1987, pp.195-218

例 5）R.H. Levy, R.H. Mattson, B.S. Meldrum（eds），“Antiepileptic Drugs”4th ed., Raven Press, New York, 1995, pp.529-554

＜インターネットからの引用＞

・著者名，“題名”，サイト名，更新日，入手先 URL，参照日（西暦）の順に記す。

例 1）厚生労働省，“薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン 2023-2027（本体）”，薬剤耐性（AMR）対策について，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html，2024 年 3 月 26 日参照

＜その他＞

例 1）アレビアチン錠インタビューフォーム，大日本製薬株式会社

例 2）アレビアチン錠添付文書，大日本製薬株式会社

【別刷】

・別刷を希望する場合は，著者校正の際，所定の用紙に必要事項を記入し申し込むこと。申し込みは 30 部から，下記料金表の通りとする。また，雑誌発行後の申し込みや下記部数以上を希望する場合は別途見積を行う。

頁数	30 部	31 ～ 50 部	51～100 部	101～200 部
1 ～ 4	5,500	6,000	7,000	8,500
5 ～ 8	8,000	8,500	9,500	11,000

［送料，税込（円）］

Presented by Medical*Online

年　　月　　日

別 刷 申 込 書

・掲載誌名：九州薬学会雑誌

・論文表題：

・著 者：

・連 絡 先（代表者氏名，郵便番号，住所，所属，Tel，E-mail）：

・別刷希望部数：　　部

・見積書・請求書・納品書：　要　（　　部）　・　不要

請求宛名：

・その他連絡事項：

Presented by Medical*Online